

公益財団法人山田満育英会 令和4年度事業報告書

自 令和4年1月1日

至 令和4年12月31日

1. 奨学金支給事業

前年に引き続き奨学生の募集をおこない、厳正な審査を経て30名の学生へ奨学金の支給をおこなった。

1) 募集について

応募資格は、①国内の大学・大学院に在籍しており、医学・工学・理学など理系分野に修学している者②経済的な理由により修学が困難な者、としている。

応募期間は令和4年4月1日～5月31日までとし、各大学奨学金担当窓口へ募集要項を配布、また当財団ホームページ (<https://www.yamadamitsuru-ikuei.org/>) でも内容を公開し、募集をおこなった。定員は前年と同様30名程度とした。

2) 奨学金支給額について

1名につき月2万円、年間で合計24万円を支給。

令和4年度は採用者数30名で、支給総額は7,200,000円となった。

3) 選考について

提出された応募書類は事務局がチェックし、申請書と作文は応募があったものすべてを選考委員のもとへ送付。選考委員が全員の審査・採点をおこない、合計点を事務局で集計した。集計結果をもとに7月に選考委員会を開催し、委員全員が出席しての最終審査をおこなった。選考結果は理事会に報告し、上位30名を採用する旨の決議に理事全員が同意したため、採用を決定した。

【大学別採用数】

大阪公立大学	2名
岡山大学	2名
金沢大学	3名
関西学院大学	1名
九州大学	4名
京都大学	2名
近畿大学	1名
慶応義塾大学	2名
神戸大学	1名

筑波大学	2名
東京工業大学	2名
同志社大学	1名
東北大学	3名
名古屋大学	1名
北海道大学	1名
早稲田大学	2名

以上 30 名

2. 奨学生交流会の実施について

学生との交流を図るため、また当財団の設立趣旨への理解を深めてもらうことを目的に、奨学生交流会を開催した。当初は大学の夏季休暇期間中である 8 月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日程を 11 月 25 日に延期し実施した。今年度の奨学生 30 名に案内を出して参加を募り、希望のあった 8 名の学生を招いての開催となった。

当日は財団の母体である大研医器株式会社本社（大阪府和泉市）にて、研究開発の現場や医療機器を製造する工場を見学。また理事長からの講話、開発担当者への質疑応答の時間を設け、理系科目を専攻する学生たちとの積極的な意見交換がおこなえた。

終了後はささやかな懇親会を催し、学生・開発メンバー・理事長・事務局が和やかな雰囲気の中で話すことができ、親睦を深める良い機会となった。